

資源とごみがどうなるか

資源とごみは、工場で新しいものに生まれ変わります。正しく分けて出すと、また使うことができます。

資源

プラスチックでできたもの
プラスチックの容器
ペットボトル
びん
かん
リサイクルできる紙

ごみを分ける工場 リサイクルの工場



※「新聞」「雑誌」「段ボール」に分けて出してください。それぞれ別の紙に生まれ変わります。

燃やすごみ

ごみを燃やす工場



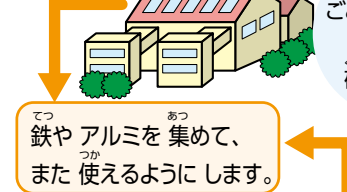
ごみを燃やすと、20分の1のおおきさの灰になります。

灰は、セメントの材料になります。

灰を固めて、道路などを作る材料にします。

燃やさないごみ

ごみを細かくする工場



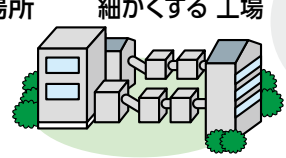
ごみを機械で細かく砕きます。

燃やさないもの



大きなごみ 粗大ごみ

ごみを集める場所 → ごみを細かくする工場



ごみを埋める場所が、もうなくなっちゃうよ

ごみを埋める場所は、あと50年でいっぱいになります。もう新しく作ることはできません。ごみを減らして、ずっと使えるように協力してください。

※ごみがどうなるか、だいたいの流れを書いています。

プラスチックの容器
リサイクルできる紙
びん・かん・ペットボトル
燃やすごみ
燃やさないごみ
大きなごみ(粗大ごみ)
決まった場所に出すもの
区が集めないごみ
地震や大雨のときのごみの出し方
お店や会社の
資源とごみがどうなるか
こんなときはどうするの?